財務・会計講座試験

②財務会計の頻出論点

【推奨知識】

第5講 人件費（給与計算・支払）

第6講 人件費（工数集計と費用処理）

第7講 勘定科目の判別

第8講 会計と税務

【評価基準】

不合格：講座の内容を理解できていない

銅バッジ：講座の内容を理解できている

銀バッジ：銅バッジの評価 ＋ 他の人が提出した課題に対する考察ができている

金バッジ：銀バッジの評価 ＋ 初心者に教えられるレベルで理解できている
※銀バッジ獲得者に最新ニュースに関する質問を送ります。別途お応えください。

【問題と回答】

問題①
ご自身の給与明細書またはweb上で見つけられるサンプルの給与明細書をもとに、必要な会計処理をしてみてください。

なお、以下の条件に留意してください。
• 必要な仕訳は①給与の支払い並びに控除額の計上②会社負担分の費用計上、の2つです（労働保険料の前払計上の仕訳は必要ありません）
• 勘定科目と金額だけでなく、補助科目も括弧書きで付記してください。なお、テキストに載っている補助科目は一例でしかありませんので、各自の工夫で補助科目を設定していただいてもかまいません。
• 社会保険料の負担割合は、ご自身のお勤め先の条件にしたがってください（お勤めでない方は折半と仮定して仕訳をしてください）

回答①

|  |
| --- |
|  |

問題②
ご自身の一日（起床から就寝まで）を記録してみてください。

記録の方法は以下のようなものがあると思いますが、皆様の好みにお任せします。一つ一つの行動の「工数」をとるつもりで、おおむね15分単位で記録を取ってみてください。

1. 寝る前にその日のことを思い出しながら手作業で記録する
2. 一つ一つの作業をしながらライフログアプリに登録する
その上で、以下についてご自身なりの考えをまとめてください。

• 工数を効率的、かつ出来るだけ正確に把握するにはどうしたら良いか
• 1日の記録を振り返ってみて、ご自身にどんなフィードバックをしたいか
• これを、職場で応用できるか（個人レベル／組織レベル）

回答②

|  |
| --- |
|  |

問題③
自宅に届いている様々な請求書等を見てみましょう。
・電気、ガス、水道などの公共料金
・生保・損保・自動車保険等の保険料
・固定資産税等の通知書

自分自身が会社であったと仮定して、それらの請求書をどういった勘定科目で処理すればいいか、考えてみてください。

回答③

|  |
| --- |
|  |

問題④
自分の会社の経理規程等を見て、勘定科目の使い分けに関する規則が載っているか確認してみてください（経理規程がない会社では、どのように勘定科目を決めているか、そのルールを確認してみてください）。

それを見て、疑問点をまとめてください

回答④

|  |
| --- |
|  |

問題⑤
自分の会社（または興味のある会社）に固有の税制があるかどうか、調べてみましょう。

ここでいう「固有の税制」とは、
• 自分の会社や業界にだけあるような税目
• 自分の会社や業界にだけ当てはまるような加算項目や減産項目
• 自分の会社や業界にだけ当てはまるような税額控除
等を指します。

業界に固有の税制もあれば、例えば「○○特区」といった地域に固有の税制もありますし、災害から日が経っていない地域では特別な税制が敷かれることもあります。

頭を柔らかくして色々調べてみてください。

回答⑤

|  |
| --- |
|  |